

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 5日

川越市長 殿

提出者

住 所 埼玉県川越市大字鯨井1086

氏 名 株式会社 東興業

代表取締役 遠藤 武

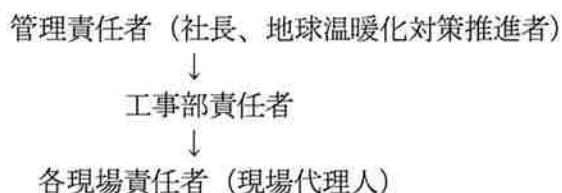
電話番号 049-231-4680

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 東興業
事業場の所在地	埼玉県川越市大字鯨井1086
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	687,233万円
③従業員数	12名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場(土木工事) ↓ 収集運搬会社へ委託(委託契約) ↓ 再生資源化施設へ委託(委託契約) ↓ 最終処分(最終処分場への搬出)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊
	排出量	2422.1 t	20.7 t
	（これまでに実施した取組） 各工事現場における、分別解体の実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊
	排出量	2,400 t	18.0 t
	（今後実施する予定の取組） 工事の受注状況により数量は増減するが、各現場ごとに廃棄物の抑制を図り、再資源化を徹底する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） スファルト塊、コンクリート塊、木くず、廃プラ、金属くず、混合廃棄物、建設汚泥、ガラスくず、陶磁器くず
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を細分化していく。

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊
	全処理委託量	2422.1 t	20.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2422.1 t	20.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定 各工事現場における、分別解体の実施			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊
	全処理委託量	2400 t	18 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2400t	18 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>工事の受注状況により数量は増減するが、各現場ごとに廃棄物の抑制を図り、再資源化を徹底する。</p>			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 管理責任者 (社長、地球温暖化対策推進者) ↓ 工事部責任者 ↓ 各現場責任者 (現場代理人)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	木くず
	排出量	8.58 t	4.4 t
	(これまでに実施した取組) 各工事現場における、分別解体の実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	木くず
	排出量	8.0 t	4.0 t
	(今後実施する予定の取組) 工事の受注状況により数量は増減するが、各現場ごとに廃棄物の抑制を図り、再資源化を徹底する。 細分別化を図る。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) スファルト塊、コンクリート塊、木くず、廃プラ、金属くず、混合廃棄物、建設汚泥、ガラスくず、陶磁器くず		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別を細分化していく。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

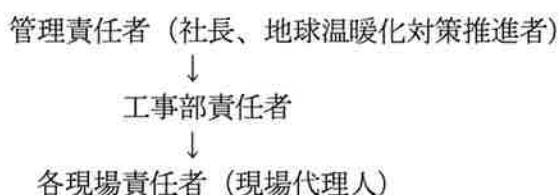
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	木くず
	全処理委託量	8.58 t	4.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	6.63 t	t
	再生利用業者への処理委託量	8.58 t	4.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	各工事現場における、分別解体の実施		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	木くず
	全処理委託量	8.0 t	4.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	8.0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>工事の受注状況により数量は増減するが、各現場ごとに廃棄物の抑制を図り、再資源化を徹底する。</p> <p>細分別化を図る。</p>			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	汚泥
	排 出 量	12.22 t	10.77 t
	（これまでに実施した取組） 各工事現場における、分別解体の実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	汚泥
	排 出 量	10.0 t	10.0 t
	（今後実施する予定の取組） 工事の受注状況により数量は増減するが、各現場ごとに廃棄物の抑制を図り、再資源化を徹底する。 細分別化を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） スファルト塊、コンクリート塊、木くず、廃プラ、金属くず、混合廃棄物、建設汚泥、ガラスくず、陶磁器くず
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を細分化していく。

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

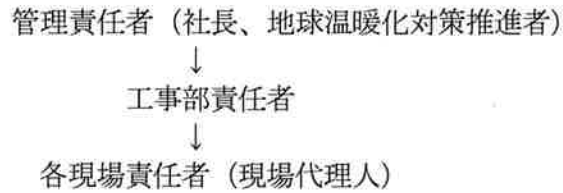
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	汚泥
	全処理委託量	31.01 t	10.77 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.86 t	10.77 t
	再生利用業者への処理委託量	12.22 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	各工事現場における、分別解体の実施		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	汚泥
	全処理委託量	10.0 t	10.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	10.0 t	10.0 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
<p>工事の受注状況により数量は増減するが、各現場ごとに廃棄物の抑制を図り、再資源化を徹底する。</p> <p>細分別化を図る。</p>			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃油
	排出量	38.15 t	0.72 t
	（これまでに実施した取組） 各工事現場における、分別解体の実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃油
	排出量	10.0 t	0.5 t
	（今後実施する予定の取組） 工事の受注状況により数量は増減するが、各現場ごとに廃棄物の抑制を図り、再資源化を徹底する。 細分別化を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） スファルト塊、コンクリート塊、木くず、廃プラ、金属くず、混合廃棄物、建設汚泥、ガラスくず、陶磁器くず
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を細分化していく。

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃油
	全処理委託量	38.15 t	0.72 t
	優良認定処理業者への処理委託量	36.4 t	0.72 t
	再生利用業者への処理委託量	38.15 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
各工事現場における、分別解体の実施			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃油
	全処理委託量	10.0 t	0.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	10.0 t	0.5 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
工事の受注状況により数量は増減するが、各現場ごとに廃棄物の抑制を図り、再資源化を徹底する。			
細分別化を図る。			
※事務処理欄			